
女

敬愛

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

女

【Nコード】

N1624N

【作者名】

敬愛

【あらすじ】

女性視点の詩で構成。

寂しさから始めよう

寂しいなんて感じた事無いって
強がっていた私

貴方に苦しい恋をしていた
誰にもまだ知られていない

いろんな男と寝たわ
確かめる為

何をつて？

フィーリングよ 言わせないで

ある男が言った

彼女とは体と体が合う
汚らわしい

そう思う私は二律背反

自分勝手に生きて

人に迷惑をかけて

甘えて 甘えすぎて
甘い誘惑に

ある女が言った

女は男より穴が多いから
だから強い

アハハ

笑えないジョークだと思った
そのくらい傷ついて

一人ならば 一人ならば
かえって寂しさなんて感じないのに

私苦しい恋をしていた

純粹な陶酔

薄暗いバーで

一人カルアミルク飲んでる

本当は本当はね

寂しいの

甘い甘いカルアミルク

哺乳瓶代わりのバージニアスリム

ニコチンもアルコールも

毒だってお医者様は言うけど

私だって

最期にはきつと気付いてる

そう気付いてる

心にポツカリ開いた穴に

「寂しさ」と名前を付けて

自分を認めていこう

そう名付けてる

自分の子供にそうするように

願いを込めて

いつか いつかって

待ち望んでる

ハート満ちたり

一人 自己満足な
勝利の旗を揚げる日

残酷な貴方へ　　私は産みます　　（前書き）

中学生の時コンドームを風船代わりにして遊んでいる男女がいたまらなく不快だった。

子宮を子供宮殿となぞらせるのは幼稚園の性教育から取りました。

残酷な貴方へ　　私は産みます

生理が来ないの
わかってる

貴方の答えは
子供が出来たら堕ろせ

コンドーム付けてと

頼んでも

あなたはいつも
欲望に身を任せ

猛獣ね

もう充分よ

男はみんなそう
わかってた　でも・・・

禁止って言葉がわからない
錦系玉子みたいに
少し黄色く細長く
伝わる液体

どうにもこうにも
納得いかねえ
責任の所在は何処？
切り刻んで食べてあげる

一方通行って訳じゃないわね
出たり　入ったり

私の心の中を
息が苦しい

女の心なんて
何もわかってないくせに
イキたい所にイかせて
何故？涙流してる

貴方は背中を向けて
タバコ吸う
抱きしめられたい 強く
思い届かず

断崖絶壁
ベルリンの壁 万里の少女
A C の症状 壊したい
貴方ごと b o m b !

どんなキスよりも
どんな愛撫よりも
離さないで
T V 消してよ

私の子宮に
また傷が付く
子供宮殿 ボロボロ
未来の赤ちゃん ゴメンネ

それならば さようなら
残酷な貴方

笑顔の二人の写真だけ
バックに詰めて貰っていくわ

そつとそつと

ベッドから抜け出して

外は雨 傘も差さず

さようなら 明日はハレルヤ？

ズツ ズツ

拒食症

食事 食事って

ウゼえんだよ

あたしはやせなきゃならないんだ
じゃないと彼に捨てられる

体重は何kg？

40kg？

何だよ？

丸一週間何も食べてないのに！

なんか便秘気味

立ちくらみがする

顔色はファンデ厚塗りで

誤魔化し

職場のみんなからは

やせたんじゃない

良かったねって

昼休み弁当指を口に突っ込んで吐いてる

まだまだやせなきゃ

あの人を喜ばす為に

彼がやせてる女の子が好きって言うから
目指せ 彼の理想の女

こんな事になったのは
彼が私を

お姫様抱っこしてやるって言って
重くて私を落としたの

私は怪我して

彼は泣きながら謝った

俺 力ないね

強くならなきゃ

草食系男子

乙女チック

ロマンチスト

イケてる顔

そんな彼が好き

力持ちに 強くなんてならなくていい

君はそのままでいて

私が変わるから

今日も食べない

明日も食べない

私ビョーキかもしれない

それでもいいかもしれない

だって愛のためだもん

私がい慢すれば

彼は我慢しなくていい

そう思うの やせ我慢かしら？

なんとなく透き通ったブルー（前書き）

イミフだったのでちょっと書き直しました。

なんとなく透き通ったブルー

涙雨

心落ち着く

女一人旅に出てみた

場末の温泉街

男にしばられてきた

人生 バイバイ

私が望んだ物とは
ちよつと違つたの

どんな宝石も

私には価値がない

ただ寂れて

一人酒を飲む

哀れかしら

虚しいかしら

案外私は満足

元々一人ぼっちには慣れてる

晴れの日には

お布団を干して

音楽を聴きながら

楽しくお料理

雨の日には

レンタルのビデオ見て

長靴でピチャピチャ散歩
音のハーモニー

昔からそうだった
友達付き合い
合わせて来たけど
私女のくせにお喋りが下手で

詩を書いたり
絵を描いたり
そういう時間が
好きだった

父親を知らない私
恋人みたいに
連れ立っている親子を見ると
どんな気分なんだろうと不思議

だからね 私お母さんの生き写しよ
一人でも寂しくないから
見合い話なんて持ってこないでね
お母さんには自分の幸せを考えて欲しい

お母さんが生まれてきたこと
私が生まれてきたこと
全てが繋がってる
ほら同時にあくびした

母娘の絆って深い物ね
なんとなく透き通ったブルー

感謝しているの 産んでくれて
ありがとう お母さん

羊水の色 青空の色

お母さんの涙の色

深い絆にはかえって

なんとなく透き通ったブルーが似合う

なんとなく透き通ったブルー（後書き）

タイトルが先に浮かぶとろくな詩が出来ないんだよな。
十二年前ガンガン詩を書いていたときは言葉が溢れていた。

ダヨネ（前書き）

ヒルクライムの「春夏秋冬」みたいに順番通りにしたかったけど
合わないので地球の反対側では冬将軍も王SUMMERなんてダジ
ヤレで誤魔化しました。

ダヨネ

恋に恋して

ドキドキしていたいじゃん

夢を夢見て

トキメキしてみたいじゃん　ダヨネ

あゝあの子

食べちゃいたいくらい

カワイイ

ギャル男なんて死語

死後後悔しないように

大空を大海を航海

羅針盤　くるくる

いつとくか　ダヨネ

彼氏いない歴16年

そろそろ　ウロウロ

聖なる夜に

したたる　したたかなる

野望燃えさかる

大文字焼き

幸と描いて

彼氏をゲット　ダヨネ

ぐるぐる周る

季節の真説は

地球の反対側では

冬將軍も王SUMMER

驚きが欲しいんだ

難しく言えば

驚天動地？

大山鳴動して鼠一匹かも

明滅する携帯の

近くに置いてある

シンメトリーの顔文字一覧表

かわいいしメール速打ちが特技だから ダヨネ

夏休み 一休み

海辺でキャミソール着て

ハイソな少女を

気取ってるけど

また一周して

Like a ハイパーメリーゴーランド

桜咲く季節

真なる生なんて一瞬だよね そうだよね

真性ドM

人生微笑む

神聖なる少女の生き様

神性がやどるまで同意を求める ダヨネ？

ロマンティックな幻・・・（前書き）

miwaのchange聴きながら作りました。

ATフィールドの訳が絶対不可侵領域です。（エヴァ豆知識）

ロマンティックな幻・・・

優しくされる度不安になるの

こんな私変かしら？

ヒステリックでサディスティック

そうよねきつとこの恋ロマンティック

大切な物は失って

初めて気付くって

それじゃ遅くないかしら？

貴方がもし私と別れたいなんて・・・

もしも言ったら

私貴方を殺してしまうかもしれない

よく言うでしょ

誰かに盗られるくらいなら・・・

でも私勘違いしてる

彼の優しさは

ただ私を繋ぎとめておきたいだけの・・・

そうでしょ 当たってるかな？

こんな私を こんな私を

必要としてくれる人

もう二度と現れないかも知れない

だけど二人の愛の形は・・・

かなりグズグズ

駄目なのよ 二人で一緒に見た景色

心臓にくさびを打ち込むほどの
鎖にはなっていやしない

そう もう帰りたいの
貴方しかない世界から
生まれたままの姿で
ベッドに横たわって・・・

かなりドロドロ
そう 私変わりたいの
何でも良いから
ここにはずっといられない

コンフュージョン
私サツキュバス
貴方に淫らな夢を見せた
リアルに嫌気がさした

どうしてかしら
冷め切ったステーキみたいに
固くな(つて)ベトベトする
貴方と繋いだ手から・・・

二人脂汗かいてる
あんな行為もそんな行為も
やってきたのに
あんな恋やそんな恋は出来ない

きっとそうだよ 二人長く一緒に居すぎたから
浪漫の傲慢に侵されていたの

近付く毎 近付く毎
貴方の声 聞こえなくなっていく

きつとそうだよ

絶対不可侵領域

心の壁が崩れ去った音は
幻だったの・・・

届かない 届かない

星に願ったプレゼント

今まではアクシデント

幻だったの・・・

ようこそ！HAPPY DAYS（前書き）

うーんイマイチ整合性がとれていないような気がする。

ようこそ！HAPPY DAYS

ヒッヒッフー

ヒッヒッフー

もう少しよ

頑張って

もう駄目

限界です

鼻からスイカなんてもんじゃない

まるで針穴に大根

大丈夫

優しい産婆さんが言う

貴方は奇跡を

起こそうとしているの

早く赤ちゃんの顔がみたい

あの人との結晶

決心しよう 今日決勝

私の懸賞当選確実だから

もう少しよ

頭が見えてきた

今うちが一番手の旗手

一気呵成の奇襲

産まれましたか？

産まれましたか？

ああ私の赤ちゃん
初めまして

居丈夫

優しい産婆さんが言う

元気な男の子よ

おめでとう

H A P P Y B I R T H D A Y

H A P P Y B I R T H D A Y

妻からお母さんになる瞬間

私やり遂げたわ 出産

ほんとおめでたいわね

名前は何にしたいの？

うちまだまだ半人前だけど

命産まれる時には武者震い

0歳の誕生日のお祝い

うちの役割はとりあえずお終い

そう産湯につけてあげなきゃね

どう気持ち良い？

ろうそくの立っていない

バースデーケーキ

老婆心真ならず まだ若い

うちからの真心

どう嬉しいでしょ

来年にはろうそく一本ね

百本までどうか繰り返されますように
ようこそ H A P P Y D A Y S

ようこそ！HAPPY DAYS（後書き）

産婆さんと妊婦さんの掛け合いというのは面白い、かもしれない。

OPEN EYES (前書き)

殊更にお母さんが悲劇の主人公である必要性はないのだが。
なんとなく。

OPEN EYES

さあ行きましょう

ここではない何処かへ

そつと目を開いて

ほら朝日が昇るよ

私の子供は

生意気にも和食派

トントントントン

炊き立てご飯に豆腐の味噌汁に焼き魚

食事を終えて

席を立つ

じゃあママ行ってくるね

大好きだよ

それが最後の言葉だった

あの子病院で

変わり果てた姿

目眩を誘う白い布

どうして家の子が
車ではねた男の人が
涙ながらに謝っている
この人が・・・

目を閉じて祈る
何かの間違いでありますように
神様いるんでしょ
家の子を返して

目を開けて
目を開けてよ
さっきまであんなに
元気だったじゃない

行ってくるね
そう言っただじゃない
じゃあ帰ってきてよ
そつと目を開く後に

ママ大好きだよ
そう言っただじゃない
じゃあおでこにキスをさせてよ
そつと目を閉じる前に

開かない 開かない
つぶらな瞳を覆う瞼
どうか そつと目を開いて
ほら夕日が沈むよ

さあ逝きましよう

ここではない何処かへ

花が咲き誇り 舞い乱れる

あの場所へ 一緒に

OPEN EYES (後書き)

それにしてもこれは短すぎるかもしれない・・・。

女の直感

どうしてこんな男と？

そんな貴方と

春夏秋冬

春夏秋冬

幸せが続くと思っていた
私たちどちらか死ぬまで
しかし

そんなに甘くなかった

釣った魚に

餌はやらぬとばかりに

貴方は私を置いて

1LDK 金魚鉢の中

それが男の罠

そんな時

赤ちゃんが出来た

これで上手く行くと思った

でも違った

春夏秋冬

春夏秋冬

貴方は暴力を振るう様になった

私は耐えた

幼い子供の為に

生活費は入れてくれず
私はパートに出た

アパートに戻ると
娘の泣き声がした
風呂場の方から
嫌な予感がした

そこには
実の娘の頭を掴んで
冷たい水に
突っ込んでる男がいた

「やめて！」
かつて私が性行為を
拒否した時と
同じ言葉が口をついて出た

男は言った
三年間関係がないと民法で離婚できるんだぜ
もう限界だ
私は男を突き飛ばした

私は笑った
アハハハ
アハハハ
狂ったフリをして精神科に入院した

娘は児童養護施設に
父親は他の女と

私は精神病院閉鎖病棟

家族バラバラだったけどこれで良かった

どうしてこんな男と？

女の直感 当たるものね

第一印象 大事でしょう？

まだ第一楽章 これから復讐が始まる

m i w a c h A n g e へのアンサーポエム（前書き）

完結。あんまり面白くなかった。書いてても。やっぱり女心は難しい。

miwa c h A n g e へのアンサーポエム

「貴方の事だけ」

c h a n g e

変わっても

忘れたくない

君が贈ってくれた言葉を

悲しい土手で一人呟く

空がいつも真っ赤ならいいのに

そんな貴方見て夕焼けも真っ赤だよ

私は言った

違う 僕が求めているのは

血の様に真っ赤な空

君の心のイメージは

橙色だろ

どうして 貴方は孤独を愛するの

寂しくなったりしないのかしら

とても気がかりだわ

B e c a u s e I l o v e y o u

c h a n g e

空の色 黒く染まりゆく

川辺で遊んでいる子供たちも

いつの間にかいなくなった

貴方が考えている事
なんとなくわかる気がするから
私も孤独なんだよって
貴方に伝えたいから

c h a n g e . . .

c h a n g e . . .

貴方変わっても
私ずっと見守るよ

c h a n g e

大好きな貴方の為に
弾きたい音楽
奏でてあげるから

c h a n g e

生まれ变っても
貴方の事
見つけ出すよ

もしも貴方が死んでしまったら
私は泣いて走り出すよ
時を止め 叫ぶ

I w a n n a c h a n g e

m i w a

c h A n g e へのアンサーポエム（後書き）

どうでしたか？自分的には壮大なチャレンジだったんですが・・・。
とりあえず好きなから読んでください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1624n/>

女

2011年2月11日15時55分発行